

丹後農業実践型学舎研修情報（2月）

- ダイコン、聖護院カブ、ハクサイを収穫・調製し、加工業務用での出荷や直売所販売を実習した。
- 「マーケティング論」「農産加工開発実践研修」を受講した。
- 「学舎用地補完工事」「青年等就農計画認定準備説明会」「リース契約説明会」「平成30年度国営団地管理組合長・営農組合長合同会議」「農業者年金説明会」「税務処理関連説明会」「京都府農林漁業者合同研修会」「加工用甘藷栽培反省会」に参加した。



学校給食用食材準備：ハクサイ



学校給食用食材準備：大かぶ洗浄



リース事業説明会



農業者年金説明会



国営団地管理組合長・営農組合長合同会議



京都府農林漁業者合同研修

研修を通じての学舎生の所感（抜粋）

圃場に残っている作物を着実に出荷していきたい。

リース事業など補助金をうまく活用して、トラクターやハウスなどを取り入れていきたい。

農業者年金の説明会や確定申告の授業などは営農していく上で必要のため、覚えていかなければならないことが多いと感じた。

農林漁業者合同研修会では、農林漁業者といろいろな交流ができて良かった。

農産加工研修で学んだことを活かし、6次産業化を営農後の目標にしたい。

加工用甘藷の反省会では、猛暑が続き全体的に収量が少ない中で学舎6期生は悪くない収量だったので次への自信になった。

加工用甘藷である品種の製品に問題が発生していた。適切に対応できるように情報に気を付けようと思った。

10数年間、家においてあった管理機を修理して動くようになった。ハウスなどで活用していきたい。